

12月・1月・2月の行事日程一覧

12月 2日（土）【ぶら探訪 79】（要申込） 巡見使の足跡を辿る2 上戸手から高木を歩く
12月 10日（日）【中世城館測量調査】（要申込） 志川滝山城跡測量調査
12月 16日（土）【歴史講演会】 備後・備中における石造物文化圏の成立と展開
12月 16日（土）【望年会】（要申込） 歴史講演会終了後 同場所 御湯殿で行います。
12月 22日（金）【入門講座】（要申込） 古文書入門講座
12月 24日（日）【分布調査】（要申込） 中世石造物分布調査（加茂町方面）
1月 14日（日）【中世城館測量調査】（要申込） 志川滝山城跡測量調査
1月 26日（金）【入門講座】（要申込） 古文書入門講座
1月 27日（土）【記念講演会】（会員限定）（ハガキで申込） —備中・備後— 国境の武士たち
1月 27日（土）【総会】【新年会】（会員限定）（ハガキで申込） 同封の返信用葉書にて出欠のご返事をお願いします。
1月 28日（日）【分布調査】（要申込） 中世石造物分布調査（駅家町方面）
2月 3日（土）【ぶら探訪 80】（要申込） 福山城北の惣構を歩く
2月 4日（日）【中世城館測量調査】（要申込） 志川滝山城跡測量調査
2月 23日（金）【入門講座】（要申込） 古文書入門講座
2月 24日（土）【分布調査】（要申込） 中世石造物分布調査（御幸町方面）

2023（令和5）
行事案内
12月号



備陽史探訪の会の目的
備後を中心とした地域の
歴史を研究し、愛郷
の精神を涵養する。
（会則第1章第2条より）

行事参加の お申込は

「要申込」のある各行事参加
の申込は以下のいずれかより
お申込ください。

◎公式サイトに参加申込フォーム
「[https:// : bingo-history.net](https://bingo-history.net)」



◎事務局へメール
「info@bingo-history.net」
◎事務局へ電話
「070 - 1074 - 9617」

各部会学習会のスケジュールは6・7ページを参照ください。

〔備陽史探訪の会事務局〕
〒720-0824
広島県福山市多治米町 5-19-8

12月16日(土)

歴史講演会

【演題】

備後・備中における石造物文化圏の成立と展開
～宝篋印塔にみる地域性と特質～

日本体育大学 講師（歴史学）
舘鼻 誠

福山をはじめとする広島県と、隣接する岡山県には、花崗岩を中心にさまざまな石材を使った多様な石造物が残る。今回はそのなかでも中心的な石造物となる宝篋印塔を取りあげ、その時代的な特徴や地域性、また石材の違いなどから備後ならびに備中地域の石造物文化圏の類似性と相違性について概観する。

【期日・時間】 12月16日(土) 午後2時～3時半
【会場】 福山城 御湯殿
【参加費】 無料
【募集人員】 50名
【備考】 会場の広さが限られている為必ず申し込んでください。

要
申込

望年会

講演会終了後、そのまま御湯殿で実施します。

講師を囲んで今年も恒例の望年会を実施します。昨年まで数年間は新型コロナ感染拡大もあり屋内での飲食を伴う会合は自粛して来ましたが、ようやく再開します。講師も参加されますので講演会で聞けなかったようなことも聞けると思います。コロナ後通常に復して来た今年と来年に向けて積もりに積もった話で大いに盛り上がりましょう。

【会場】 福山城 御湯殿
【時間】 午後4時頃から
【募集人員】 30名
【会費】 2,000円
【備考】 会場の広さが限られている為必ず申し込んでください。

要
申込

1月27日の「記念講演会・総会・新年会」について

会場の広さが限られている為、対象は会員のみとします。
それぞれの出欠については、同封のハガキで1月20日までに
必ず返信をお願いします。

1 月 27 日(土)

記念講演会・総会・新年会 (会員限定)

記念講演会

【場所】 市民参画センター 4 階- 1 会議室
【時間】 午後 1 時 30 分～ 3 時

ハガキで
返信

【演題】 一備中・備後くにざかい 国境の武士たち

井原市教育委員会 井原市文化財センター 主任研究員
首藤 ゆきえ

この度の講演では戦国時代後半、天文年代以降の視座で、毛利氏など戦国大名の備中侵入に向き合った「備中・備後」国境の武士たちを取りあげます。

多くの一族が江戸時代初頭には帰農し、力を付けてきた百姓たちとともに、自立した村を作っていきます。

<毛利氏侵攻と井原地域の武士 天文 5 年 (1536) ～慶長 19 年 (1614) >

1. 1536 ～ 52 年

備中国では、出雲国のあまご尼子氏が備中国に進出した。(備中守護の細川氏の影響が後退) しかし備後国東部では、神辺城をめぐり、やまなただおき尼子方城主山名理興を大内方の毛利氏が追い詰める。

2. 1552 ～ 62 年

備後国東部を配下においた毛利氏は、次に備中国へ進攻。その端緒は、尼子方の猿掛城主庄氏を攻めようとした成羽の三村家親からの援軍要請だった。

3. 1563 ～ 74 年

毛利氏と備前国・宇喜多氏の緊張関係はしだいに強まる。伊勢氏・小田氏(小田)らが、毛利の家臣や神辺城主・杉原氏の配下へ編成される中、藤井皓玄と三村元親が毛利氏へ対抗するがともに敗れる。

4. 1575 年以降

いったん同盟を結んでいた備前国の宇喜多直家が、織田信長と通じ毛利氏から離反。備中国は宇喜多氏と対峙する毛利氏の最前線となり、高越と小田は毛利の駐屯地となった。

総 会

講演会終了後、**同会場**で行います。

【時間】 午後 3 時 45 分～ 4 時 45 分

【議題】 ・令和 5 年度事業報告・令和 5 年度決算報告
・令和 6 年度行事計画・令和 6 年度予算案・その他

ハガキで
返信

新年会

総会終了後、**御湯殿**に移動して行います。

今までコロナ感染防止のため新年会は実施してきませんでしたが、令和 5 年度から本会もウイズコロナに舵をきりました。久しぶりの新年会を楽しみましょう。

【時間】 午後 5 時頃から
【会費】 2,000 円

ハガキで
返信

12月2日(土)	ぶら探訪 79	巡見使の足跡を辿る2 上戸手から高木を歩く
巡見使とは、江戸時代、将軍の代替わりごとに全国各地を視察した幕府の役人のことです。昨年、ぶら探訪「戸手に庄屋・信岡平六と巡見使の足跡をたどる」と題して、品治郡戸手村（現・新市町戸手）の庄屋を務めた信岡家の住宅や信岡家ゆかりの地をめぐるとともに、信岡家に残された「御巡見諸記録」を参考に巡見使の足跡を辿って素戔鳴神社まで歩きました。今回はその第2弾。 巡見使が歩いたと考えられる石州往来を、上戸手から高木までの区間歩きます。また、行程の都合で去年は行く事ができなかった戸手用水の源流も辿ります。		
【集合時間】	午前9時（受付開始 8時30分）	小雨決行
【集合場所】	上戸手駅前 福山駅発8時18分 上戸手駅着8時50分	
【解散場所】	12時頃 JR福塩線 高木駅で解散予定	要 申込
【講師】	小林悠一（古文書部会 会長）	
【募集人員】	40名	
【参加費】	会員100円 一般300円	
【行程】	約6キロメートル歩きます。	
【備考】	小雨決行、歩きやすい靴・服装で。	

2月3日(土)	ぶら探訪 80	福山城北の惣構を歩く
福山城を作った水野勝成は惣構も含めた防御をどのように構想していたのか。今までまったく認識されていなかった惣構も含め、その地形をたくみに利用した構造を、現在残っている遺構を訪ねながら考えて行きたいと思います。		
【集合時間】	午前9時（受付開始 8時30分）	小雨決行
【集合・解散場所】	ふくやま美術館前広場（福山城西側広場）	
【講師】	瀬良泰三（近世近代史部会）	要 申込
【募集人員】	40名	
【参加費】	会員100円 一般300円	
【主な見学地】	小丸山、松山、松廻尾山、惣構北の地形を利用した防御施設、 上井手川と掘切、坊山 等	
【備考】	小雨決行、歩きやすい靴・服装で。 終了予定時刻 12時ごろ。	

<行事参加に当たって>

ぶら探訪や山城現地学習など、現地での行事では不整地や傾斜地を歩くことがあります。

参加に当たっては、必ず滑り止めのしっかりした靴での参加をお願いします。



12月10日(日)

中世城館測量調査

志川滝山城跡

測量調査を行います。山城の構造を実地に詳しく知りたい方は是非ご参加下さい。

- 【集合・解散時間】 午前9時集合～4時頃解散
 【集合場所】 龍田神社駐車場 福山市加茂町北山612
 【主催】 中世史部会
 【備考】 要申込 昼食 飲物持参 歩きやすい服装 靴 雨天、現地積雪中止。

**要
申込**

※なお、次回以降の予定は次の通りです。 **1月14日(日)・2月4日(日)**

12月22日(金)

古文書入門講座(古文書部会主催)

未経験でも大丈夫。崩し字や古文書の読み方をイチから学習する講座です。

- 【会場・時間】 市民参画センター 午後7時～9時
 【講師】 小林悠一(古文書部会 会長)
 【定員・参加費】 20名 100円 一般の方も歓迎です。
 【備考】 参加希望の方は、事務局まで申し出てください。(メール・電話)

**要
申込**

※なお、次回以降の予定は次の通りです。 **1月26日(金)・2月23日(金)**

12月24日(土)

中世石造物調査

12月は、加茂町を調査します。事前の所在確認や調査カード作成をお願いします。

- 【集合・解散場所】 午後1時半 JR 福塩線万能倉駅北口
 【講師】 篠原芳秀(副会長)
 【その他】 雨天の場合は中止し、後日実施。
 微妙な天気の際は、事務局まで確認をお願いします。

雨天中止

**要
申込**

※なお、次回以降の予定は次の通りです。

1月28日(日) 駅家町方面 【集合】 午後1時半 福山市役所 北部支所の入口付近

2月24日(土) 御幸町方面面 【集合】 午後1時半 JR 福塩線神辺駅東口

各部会主催の講座、学習会などは参加費100円を頂いております。
 別途費用がかかる場合もあります。(資料コピー代など)
 よろしくご協力ください。

「備陽史研究」原稿募集中

「備陽史研究」は備陽史探訪の会紀要です。論文はもとより論考や研究ノート、調査報告、また、新たに発見した史料紹介や、未解読の古文書解読など、郷土史に関する原稿を会員から広く募集しています。郷土史発展のために、奮ってご応募ください。1ページ目に記載の事務局へ送付ください。

古代史部会

大人の博物館教室

テーマ史で学ぶ「備後」の歴史。

広島県立歴史博物館の「常設展示」を中心に、毎回1つのテーマで見学・学習します。

12月23日(土) 考古学最前線

1月

総会の為休講

2月24日(土) 経済の目で考古学

【時間】 午前10時30分～12時
 【集合・解散場所】 広島県立歴史博物館の入口付近
 【講師】 網本善光（古代史部会 会長）
 【参加費】 会員・一般共 100円
 【その他】 別途入館料は自己負担となります。

中世史部会（中世を読む）

現地学習

1月20日(土) 淵上城跡 広島県府中市用土町・土生町

【集合・解散時間】 午後2時集合 3時半頃現地解散
 【集合場所】 TTC アリーナ駐車場 広島県府中市土生町 416-4
 【講師】 大場和弘（中世史部会 副会長）

要
申込

2月17日(土) 特別編 備中兵乱450周年フライングシリーズ
鬼ノ身城跡と経山城跡 岡山県総社市

天正2年(1574)、備中の雄である三村氏は安芸の毛利氏から離反した。長年の宿敵である備前の宇喜多氏が毛利氏と同盟を結んだためである。

同年、毛利氏は三村氏の殲滅戦を行う。世にいう「備中兵乱」である。

その殲滅戦の中で特に激戦となったのが鬼ノ身城の攻防戦である。

今回はその鬼ノ身城と毛利氏による殲滅戦の先導をした中島氏が城代を務めた経山城を巡る。

鬼ノ身城は1～12壇の郭を扇を開いた形に配置した構造で石塁や井戸跡などが確認できる。

経山城は吉備高原南端の山頂部にあり遺構としては石塁、虎口が確認できる。

いずれも総社地域を代表する城郭で今回の探訪では備中兵乱とその後について掘り下げていく。

【講師】 佐藤貴洋（中世史部会 幹事）
 【集合・解散時間】 午前10時集合～午後3時半頃解散予定
 【集合場所】 華光寺 岡山県総社市山田 1228
 【解散場所】 経山城跡麓の砂川公園
 【備考】 鬼ノ身城跡 200m 比高を 1km 弱、経山城跡 100m の比高を 400m 弱
 どちらも登山道を登ります。
 【注意】 要申込 申込期限 2月10日(土) 乗合せ希望の方は申込み時のコメントに
 乗合せ希望と入れて下さい。担当から連絡有り。積雪、雨天は延期

要
申込



近世近代史部会

近世福山の歴史を学ぶ ―画像でも楽しむ我がふるさと―

12月9日(土) 福山城の惣構について考える(第103回)

【講師】 瀬良泰三

【会場・時間】 市民参画センター 午前10時～11時45分

惣構とは城の周りの城下町や村まで含んだ範囲を守る防御ラインのことであり、福山城にも広大な惣構が造られていました。これは小田原城や大阪城に匹敵するものであり、敵の攻撃から防御する構造も強力なものでした。

今までほとんど認識されていなかった福山城の惣構について、その実体を考えます。

1月13日(土) 第一部 阿部正邦の時代 第四回 年貢収奪の実際(第104回)

【講師】 高木康彦

【会場・時間】 市民参画センター 午前9時45分～11時45分

本講座は水野・公領・松平時代が終了し、現在、「阿部時代」へと進んでいます。今回で「第一部 阿部家初代 正邦の時代」の第四回目となり、第一部の最終回となります。

今までの第一部(第一回～三回)では主に福山藩の年貢制度を取り上げてきましたが、今回(第四回)は年貢制度の最終回として領主側から農民側に告知した年貢通知状(免状)を取り上げ、百姓がいかに年貢を収奪されたか、その実際を具体的にみていきます。

今後の阿部時代の展開は領主側と百姓側の年貢に基づく攻防がその基盤となるため、是非、御聴講ください。そして第三回目までの資料もご参考ください。お持ちでない方は会場に用意しております。

2月10日(土) 福山市の小学校の開校の歩みについて―その③(第105回)

【講師】 種本実

【会場・時間】 市民参画センター 午前9時45分～11時45分

■窪田次郎の業績と生家の跡について

啓蒙所の設立などに業績があった窪田次郎の生涯について、及び昨年に地元の方々により土蔵が修復された生家の跡と窪田家の墓所について。

■霞小学校と老人大学の沿革史について

明治5年に設立された啓蒙所を前身とする霞小学校と、今年開校50周年を迎えた老人大学の沿革史を辿る。

古文書部会

古文書解読会

古文書の整理・解読を行います。

毎月一回行います。 **12月20日(水)・1月17日(水)・2月21日(水)**

【会場・時間】 市民参画センター 午後7時～9時

【講師】 小林悠一(古文書部会 会長)

【参加費】 テキスト代実費

【備考】 参加希望の方は、事務局まで申し出てください。(メール・電話)



注目イベント紹介

福山大学 備後圏域経済・文化研究センター主催 文化フォーラム2023

日本古典文学で時空を超える

五七五・七七の世界 2023

文化フォーラムは、人間文化学科の行事として地域の方々の熱心な参加と好評を受けて10年以上実施してきましたが、2021年度からは備後圏域経済・文化研究センターの行事として新たに出発しました。備後文化の特徴を、地域の皆さま、学生とともに多角的に解明していきます。2023年度は、2021年度にコロナ禍で中止した内容をもとに実施します。短歌を主軸に、人間文化学科の日本文学・アメリカ文学の教員に、日本史、連歌の外部講師を加えて4回の講座を開講します。連歌の実践もあります。なお、関連行事として、12月23日(土)には、本学附属図書館所蔵の戦国時代の連歌資料を紹介します。

入場
無料

第1回

和歌と地域 その2

日時 12月16日(土) 14:00~16:00 場所 社会連携推進センター 301 (福山駅北口すぐ)

講師 福山大学 教授 竹村信治氏 (日本中世文学)



吉備国から697年(文武天皇元年)ころまでに分出された備後国。各所の地名は、風土記、万葉集をはじめ、和歌、歌謡、歌論、軍記、女流日記、紀行、説話などに散見されます。近世の幕藩体制の中で分断される以前の備後の歴史的景観を、古典作品を通じて瞥見します。

第2回

連歌興行実践 —句が繋がっていく魅力—

日時 12月24日(日) 14:00~16:00 場所 社会連携推進センター 301 (福山駅北口すぐ)

講師 福岡県立北筑高校 教諭・連歌研究者 黒岩淳氏



数人が集まり、五七五の長句と七七の短句を交互につなげていく連歌。中世に盛んに行われ、近年各地で復興しつつあります。連歌はどのようにして句が付けられていくのか、実際に体験してもらいながら、その面白さ、その魅力に迫ってきたいと思います。

第3回

中世の福山の文学的背景 —戦国時代の福山と足利義昭周辺—

日時 1月13日(土) 14:00~16:00 場所 社会連携推進センター 301 (福山駅北口すぐ)

講師 備陽史探訪の会 会長 田口義之氏



福山を含む備後地方は境目の国の中でも室町幕府が重視した地域で、有力国人領主は奉公衆として在京し、東山文化の担い手となった。足利義昭の「頼勤座」はこうした文化的政治的背景の上で行なわれたことで、彼の来住はこの地方に新たな文化的刺激を与えた。

第4回

英語で読む和歌と俳句

日時 1月20日(土) 14:00~16:00 場所 社会連携推進センター 301 (福山駅北口すぐ)

講師 福山大学 教授 重迫隆司 (アメリカ文学)



日本文学を代表する和歌と俳句は、実はかなり英語に訳されています。掛詞や余韻、5-7-5-7-7のリズムは、翻訳可能なのでしょうか。英語で読んで初めてわかる古語や背後の気持ち等、楽しく鑑賞してみたいと思います。

